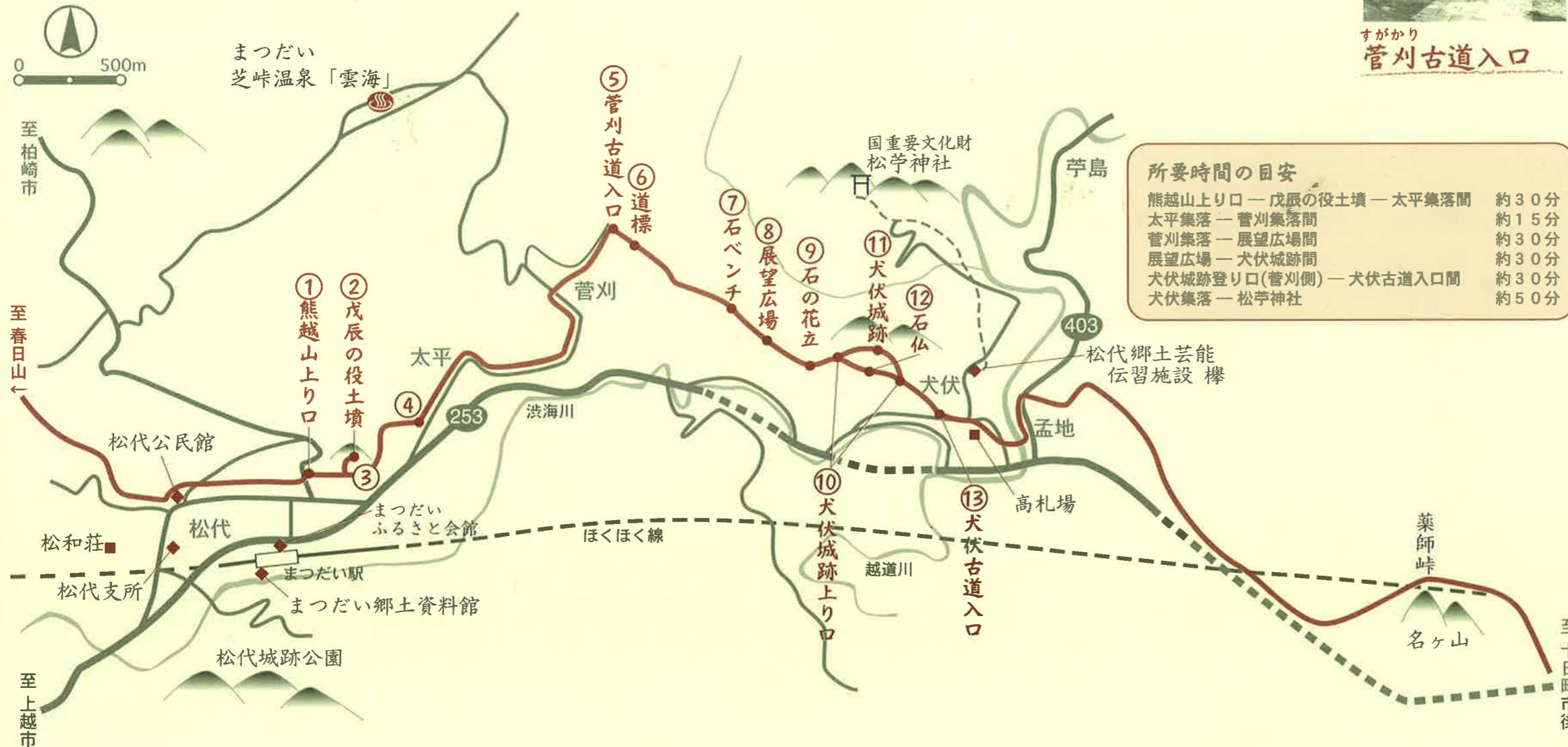


古道 松之山街道(上杉軍道)散策マップ

松之山街道(上杉軍道)は、北国街道の高田(上越市)と三国街道の塩沢宿(南魚沼市)を結ぶおよそ十九里余の街道でした。菅刈から薬師峠までの区間が、1996(平成8)年に文化庁により「歴史の道百選」として選ばれました。



所要時間の目安

熊越山上り口 — 戊辰の役土壇 — 太平集落間	約30分
太平集落 — 菅刈集落間	約15分
菅刈集落 — 展望広場間	約30分
展望広場 — 犬伏城跡間	約30分
犬伏城跡登り口(菅刈側) — 犬伏古道入口間	約30分
犬伏集落 — 松芋神社	約50分



5 すがかり
菅刈古道入口



6 道標
観音様の左右に「右つまりみち」「左松芋山みち」と彫られています。



7 石ベンチ
大きな牛が寝そべったような形の巨石が3つ並んでいます。



8 展望広場
展望広場からは、四方を見渡すことができます。写真は、松代方面の眺めです。



9 石の花立
ここに花を立てて、谷を隔てた松芋神社に旅の安全祈願をしたものと思われます。



10 いぬぶし
犬伏城跡登り口
菅刈方面から犬伏城への道は、擬木の階段が整備されています。



11 犬伏城跡
標高365m。旧松代町に残る山城跡の中で、最も大きな城だっただと思われま。

街道の歴史

中世
応永年間(1394~1427)、越後守護 上杉氏から関東管領が出ると、関東との交流が多くなりました。
天文17(1548)年 家督相続した謙信が最も力を注いだ政策の一つが、内戦にむけた軍隊の迅速な移動のための交通路整備と要衝の確保でした。たび重なる関東出陣は、松之山街道の整備を進めました。「上杉軍道」と呼ばれる所以です。

近世

松平忠輝・光長の両時代、領地が頸城郡東部から魚沼地方に広がり、領内統治の面から松之山街道は主要な街道として管理されていました。
松平光長時代、高田藩領が魚沼郡内に増加したことによる、魚沼郡内の役所や村々への御用状の継立や経済活動の活発化等により、松之山街道の役割は増しました。



1 くまごえやま
熊越山上り口
まつだい駅から歩いて5分、市道 大久保線から、石段を登ります。



2 戊辰の役土壇
明治元(1868)年の戊辰の役、松代を根拠地として戦った旧幕府軍は、4月28日、熊越山山中で官軍に敗れ、魚沼に敗走しました。ここに残る土壇は、この戦いで亡くなった浪士を村人が葬ったものと伝えられています。



3



4 たいへい
太平
市道に出てきたところが太平集落です。ここから、菅刈までの市道は、古道の道すじと重なり、道路脇に道祖神も見られます。



和紙工房 櫻
〒942-1504
十日町市犬伏143
☎025-595-6692(FAX兼)
■開館日:月~金 午前8時~午後5時
※体験は要予約

松代郷土芸能伝習施設 櫻(けやき)
かつて地域の産業でもあった「伊沢(いさわ)紙」の工房となり、誰でも紙すきを体験することができます。
2階は郷土芸能「松芋太鼓」の練習場となっています。



12 石仏
文化14年12月、犬伏村へ向かう花嫁一行が雪崩に遭遇し花嫁ほか6名が亡くなりました。石仏は、この不幸な出来事を供養するためにたてられました。



13 犬伏古道入口
現在の犬伏集落は、全体が戦国時代の館跡で、この土地を囲む澁海(しぶみ)川が天然の濠の役目を果たしました。